

真に身近な学習環境づくり

# 「相愛ビオトープとつどいの里山」とビオトープ隊の活躍

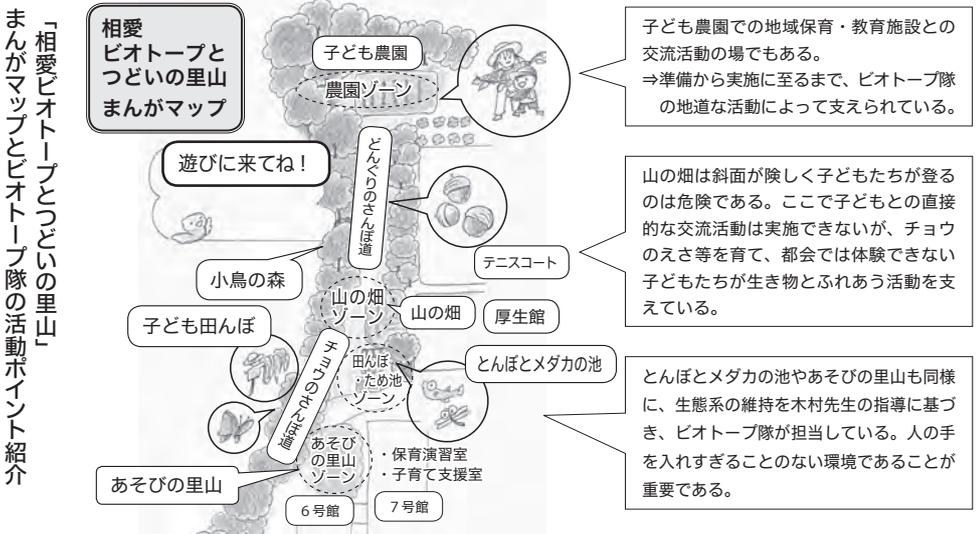
### 子ども発達学科



ビオトープ隊

子ども発達学科では、先習環境「相愛ビオトープとつどいの里山」(まんがマップ参照)を活用し、徹底した実践教育を展開しています。「相愛ビオトープとつどいの里山」が学生たちにとって真に身近な学習環境となるよう、4年間を通して様々な科目において体験を繰り返して使い込んでいます。4つのゾーンを中心に年間の取り組み計画をご覧ください。地域の保育・教育機関と連携した実践活動も展開しています。これらはビオトープ隊の地道な活動によって支えられています。ビオトープ隊の活動のポイントをマップとともに紹介しています。ビオトープ隊は子ども発達学科が主体的に加入し編成されています。子ども発達学科の学びを支えると共に、彼ら自身も大いに学んでいます。

子ども発達学科では、先習環境「相愛ビオトープとつどいの里山」(まんがマップ参照)を活用し、徹底した実践教育を展開しています。「相愛ビオトープとつどいの里山」が学生たちにとって真に身近な学習環境となるよう、4年間を通して様々な科目において体験を繰り返して使い込んでいます。4つのゾーンを中心に年間の取り組み計画をご覧ください。地域の保育・教育機関と連携した実践活動も展開しています。これらはビオトープ隊の地道な活動によって支えられています。ビオトープ隊の活動のポイントをマップとともに紹介しています。ビオトープ隊は子ども発達学科が主体的に加入し編成されています。子ども発達学科の学びを支えると共に、彼ら自身も大いに学んでいます。



山	畑	あそびの里山	子ども農園
3月 ・プランターに「キャベツ苗」、「フロコリニ苗」、「ソラマメ苗」の植え付け ・「ジャガイモの種芋」、「サトウキビ苗」、「土手かぼちゃ苗」、「イチジク苗」の植え付け ・プランターに「ニンジン」の種、「パンジー」の植え付け	4月 ・「トマト」の植え付け ・「サツマイモ」の植え付け	5月 ・「トマト」の支柱づくり、わき芽欠き、追肥、水遣り ・ジャガイモ掘り ・各種ゾーンの看板作り ・水遣り対策(蚊・暑さとの闘い) ・トマト収穫 ・草引き、草刈	6月 ・クワとスコップで土を耕し畑作りをスタート ・石灰を置き牛糞を土に混ぜて畝を立てる ・「人ひと苗」の種まきと観察記録開始 ・栽培する夏野菜は、キュウリ、オクラ、トウモロコシ、落花生に決定 ・「自分達も楽しんでプロジェクトを終えることが出来ました」と満足した様子でした。普段関わりが少なかった留学生とこのプロジェクトを通して関わることができ、貴重な体験となりました。
7月 ・トマトの収穫 ・トマトの支柱の追加と補強(予想以上の成長に対応) ・収穫物(トマトとジャガイモ)の調理体験「ジャガイモグラタン」の創作 ・「土手かぼちゃ」の収穫 ・「土手かぼちゃ」の食べ方研究(収穫後すぐは水っぽいので1週間ほど置くことを行い、トマトの保護対策(鳥の襲来、日照りの後の長雨での病気)	8月 ・「トマト」の支柱の追加と補強(予想以上の成長に対応) ・収穫物(トマトとジャガイモ)の調理体験「ジャガイモグラタン」の創作 ・「土手かぼちゃ」の収穫 ・「土手かぼちゃ」の食べ方研究(収穫後すぐは水っぽいので1週間ほど置くことを行い、トマトの保護対策(鳥の襲来、日照りの後の長雨での病気)	9月 ・秋ジャガイモの種芋の植え付け ・冬野菜(菜花、大根、ネギ、ホウレンソウ)の植え付け 10月 ・麦、春野菜(玉ねぎ苗)の植え付け	9月 ・「トマト」の支柱の追加と補強(予想以上の成長に対応) ・収穫物(トマトとジャガイモ)の調理体験「ジャガイモグラタン」の創作 ・「土手かぼちゃ」の収穫 ・「土手かぼちゃ」の食べ方研究(収穫後すぐは水っぽいので1週間ほど置くことを行い、トマトの保護対策(鳥の襲来、日照りの後の長雨での病気)

平成31年2月15日現在

卒年	氏名	旧姓	忌日
女専	S.14 坂井 縫子	近久	H30.2.14
	S.18 大原 日出子	広瀬	H30.7.1
	S.20 菅 とみ	武田	H29.9.1
国文	S.38 山岡 満寿子	畠中	H29.7.22
	S.42 乾 美栄子		H30.8.12
	S.44 辻 敏枝	川上	H29.10.11
	S.46 下村 栄子	橋本	H21.10.8
	S.56 吉川 成子	齋藤	H29.9.9
被服	S.23 大竹 幸子		H28.4.6
	S.24 野津 美代子	加藤	H27.9.14
	S.30 平山 英子	福西	H28.12.15
	S.33 安田 真左子	服部	H29.5.9
	S.47 山本 きよみ	妙見	H18.7.15
食物	S.36 村上 春子	堀口	H30.4.11
	S.39 井下 直子	宮崎	H30.2.1
	S.43 鐵 直美	岡本	H21.8.18
	S.46 大丸 久美子		H28.4.12
	S.53 山下 千恵子	乾	H29.5.2

※掲載は、ご家族の承諾を得た場合のみとさせていただきます。

**過去帳納め**  
同窓会にお知らせがあった物故者のお名前を毎年2月に、大谷本廟の学園関係者過去帳に記入しお納めさせていただきます。

- 編集委員 (50音順)**
- 大川 さなえ
  - 畑中 洋子
  - 桑原 和加子
  - 小林 貴美子
  - 小松 亜矢
  - 嶋田 哲郎
  - 新谷 美子
  - 寺川 舞
  - 西尾 洋子
  - 服部 由利子
  - 福井 千尋
  - 古川 真理子
  - 堀野 成代
  - 曲田 映世

**編集後記**  
同窓会報第13号の発行にあたりご協力いただいた皆様ありがとうございました。  
今年度は、大阪北部地震や台風21号などの自然災害が多発し、大学にも様々な被害が出ましたが、学生たちは変わらず元気に過ごしています。これからも相愛大学の様子や卒業生の活躍されている様子をお届けしていきます。

### 発達栄養学科



## 『いっしょに作って学ぼう!!和食』を実施

発達栄養学科では新しい取り組みとして、相愛大学国際交流部との連携による留学生食育プロジェクト「いっしょに作って学ぼう!!和食」(全2回)を実施しました。このプロジェクトは「栄養・食生活の正しい知識を学ぶ」「日本の伝統的な和食を学ぶ」「留学生と他学科との交流」を目的としています。相愛大学に在籍している留学生を対象とし、和食の調理実習、体組成・骨密度測定、学生レボを行いました。

第1回の調理実習はおにぎり、豆腐と野菜のホイール、焼き、具たくさん味噌汁、即席ふりかけ、第2回はサラダ巻き、ふわふわ卵の和風あんかけ、けんちん汁を作りました。留学生への事前アンケートの結果では、「お寿司が好き」という学生が多く、サラダ巻きは大変好評で、「お寿司を初めて作ったが、とても簡単にできた」「すごく美味しかった」との声がありました。

試食の際、発達栄養学科は留学生と会話しながら交流を深めていきました。学生レボでは、発達栄養学科1回生が「和食」、「健康な食事」について楽しく



### 子ども発達学科

- 向かって左から  
木村 佳歩さん  
押 芙美さん  
徳永 陸生さん  
高橋 孝太さん



## 同窓会新幹事決定!



- 発達栄養学科  
向かって左から  
島谷 麻以さん  
佐藤 真由さん  
松下 紗季さん  
求 有理香さん